

社会福祉法人群馬県社会福祉協議会

新型コロナウイルス感染症 感染防止対策への取り組み

～ 群馬県民の生活を守るために～



1 研修会・セミナーのWeb配信やeラーニングによる実施

新型コロナウイルス予防の観点から、集合形式での開催だけでなく、動画を撮影してのDVDの配布やWeb配信、eラーニングでの研修を実施。

▷ 研 修 会

● 福祉施設等職員向け新任・中堅・チームリーダー研修

ZOOMを活用したリアルタイムでの研修の形式やグループに分かれての（演習を含む）や動画配信による視聴形式を採り入れた内容で実施。

● 施設長・管理者研修

「施設内における新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ及びノロウイルス等の感染症対策について」をテーマに、撮影した動画をWeb配信形式にて実施。

● 介護支援専門員研修

講義はWeb配信による事前学習とし、演習は時間短縮を図った上で、パーテーションを設置するなど、感染症対策を徹底して実施。

● 群馬県教育・保育のキャリアアップ研修（第1期・第3期）

感染症予防の観点から、集合形式での実施からeラーニングに切り替えて実施。

● 新任民生委員・児童委員研修会

講師を招いての大規模な集合研修から、DVD動画配信による小規模研修へと切り替え、県内各地域で回数を増やして実施。



● なんでも福祉相談員研修会

ZOOMを活用したリアルタイムでの講義や、Web上でグループごとに分かれての演習形式を採り入れた内容で実施。

● ふれあい・いきいきサロンブロック別研修会

県内5ブロックでの集合開催から動画の撮影・配信に切り替えを行い、録画したDVDを県内関係者へ配布予定。

▶ セミナー

● 社会福祉法人の公益的な取り組みテーマ別実践発表会・情報交換会

社会福祉法人・施設の地域貢献の取り組みについて、4回のテーマ別実践発表会・情報交換会を集合形式で実施し、後日撮影した動画をYouTubeにて配信。

● 移動・外出支援について考えるフォーラム

高齢者や障がい者等の移動・外出支援に関する制度理解や実践事例を学ぶことを目的に企画。集合形式での開催から動画のWeb配信に切り替えて実施。

● 地域共生社会推進セミナー

「地域共生社会の実現に向けた包括的な支援体制の構築」をテーマに、動画のWeb配信にて実施。

● 群馬県ふくし総合相談支援事業 全体会議

「地域共生社会の実現に向けたなんでも福祉相談員の役割」をテーマに実践者によるパネルディスカッションの様子を動画のWeb配信にて実施。



群馬県ふくし総合相談支援事業 全体会議
パネルディスカッションの様子



群馬県ふくし総合相談支援事業 全体会議
事務局説明の様子

群馬県社協
公式YouTube



2 新型コロナウイルスに係る生活福祉資金特例貸付の実施

新型コロナウイルス感染症の拡大の影響で、収入の減少、失業した方々の生活を支援するため、市町村社会福祉協議会を窓口として特例貸付（緊急小口資金・総合支援資金）を実施（令和2年3月25日～）

◇ 各貸付事業の実施状況 令和3年2月末現在

1. 緊急小口資金	合計	2. 総合支援資金 (延長含む)	合計
	20,102件		13,284件
	3,759,030千円		6,675,288千円

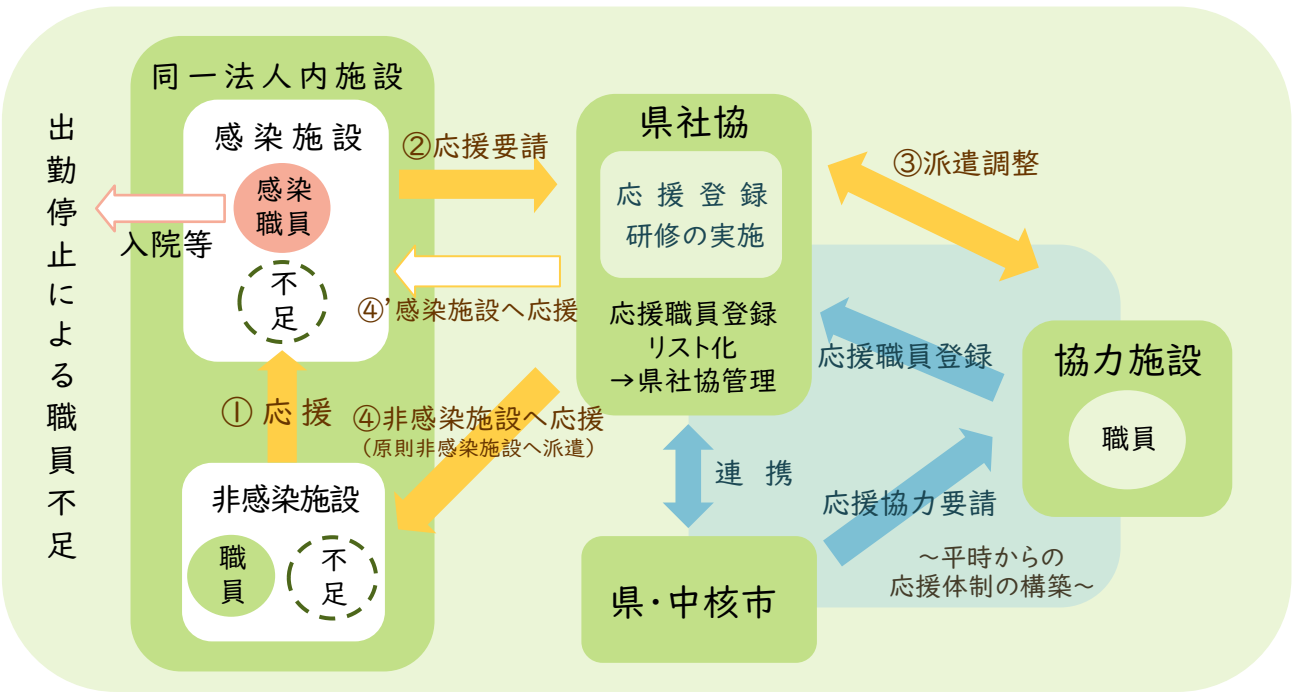
新型コロナウイルス感染症の影響によって休業になったり仕事が減ったことで収入が減少した方に、緊急かつ一時的な生計維持のための生活費を貸付。

新型コロナウイルス感染症の影響によって失業したり仕事が減ったことで収入が減少し、その収入減少が長期にわたることで日常生活の維持が困難な方に、生活の立て直しまでの一定期間の生活費を貸付。

3 社会福祉施設における感染症発生施設への応援体制の構築

感染症の発生等により施設職員の勤務が制限され、運営が困難になった施設への事業継続を確保するため、県内施設の連携の下、相互支援体制を構築（令和2年9月16日）

◇ 高齢者・障害児者施設等への応援職員派遣支援事業のイメージ



4 災害対応

コロナ禍においても災害支援活動に取り組んでいけるよう、資器材の整備やICTの活用について学ぶ研修やセミナーを実施

- 避難所における感染防止対策の徹底（資機材の確保・研修）
- 「ICTを活用した災害ボランティアセンターの運営」についての研修実施。



災害支援セミナーII

5 ニューノーマルな働き方への転換

新型コロナウイルスの拡大や予防の観点から、テレワーク環境を整備し、在宅勤務の実施や交代制勤務、リモートによるWeb会議等を実施

- セキュリティを高めたノートPCとポケットWi-fiをセットにして各課に完備し、在宅や災害派遣時でもリモートで業務が行えるよう環境を整備。
- ZOOMの有償アカウントを契約し、Web会議を主催できる環境を整備。
- 市町村社会福祉協議会へのオンライン環境整備に係る実態調査の実施。
- コロナ禍における県内のボランティア活動の取り組みをまとめた冊子の作成。



テレワーク用PC・Wi-fi

新型コロナウイルスに負けない!群馬県内の地域福祉活動について
県社協ホームページで掲載中(随時更新予定)

6 新型コロナウイルス感染症への対応に係る県への提案及び要望の実施

毎年実施している次年度の群馬県社会福祉関係予算要望の場において、以下のとおり県知事へ要望書を提出（令和2年9月14日）

要 望 事 項

- 社会福祉施設の利用者等へのPCR検査等の実施
- 新型コロナウイルス感染症に対応する保育所・児童福祉施設職員への慰労金支給
- 生活福祉資金貸付制度における「緊急小口資金等の特例貸付」の適切な償還及び免除業務体制の確保について
- 社会福祉団体への新型コロナウイルス感染症対策及びオンライン化等に対する補助
- 医療・福祉従事者への風評被害及び差別の解消

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償！！

令和2年度

ボランティア活動保険

全国200万人
加入！！

保険金額・年間保険料（1名あたり）

保険金の種類		基本プラン	天災・地震補償プラン
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円	
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)	
	入院保険金日額	6,500円	
	手術 入院中の手術	65,000円	
	保険金 外来の手術	32,500円	
	通院保険金日額	4,000円	
賠償責任の補償	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円(限度額)	
	年間保険料	350円	500円

団体割引20%適用済／過去の損害率による割増引適用

＜基本プランに加入される方へ＞

基本プランでは、地震・噴火・津波が起因する死傷は補償されません。

◆災害ボランティア活動の参加は、「天災・地震補償プラン」への加入をおすすめします。

※被災地でのボランティア活動では、予測できない様々な事態が想定されます。二次被害への備えとしても、あらかじめ「天災・地震補償プラン」に加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

商品/パンフレットは
コチラ
(ふくしの保険ホームページ)



ボランティア行事用保険

送迎サービス補償

福祉サービス総合補償

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

(傷害保険)

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者

社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL:03(3349)5137
受付時間：平日の9:00～17:00(土日・祝日、12/31～1/3を除きます。)

損保ジャパン日本興亜は、関係当局の認可等を前提として、2020年4月1日に商号を変更し、「損保ジャパン」になります。

取扱代理店

株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763
営業時間：平日の9:30～17:30(12/29～1/3を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

(SJK19-12918 2020.2.10作成)

社会福祉法人

群馬県社会福祉協議会

〒371-8525 群馬県前橋市新前橋町13-12

TEL:027-255-6033 FAX:027-255-6173

<https://www.g-shakyo.or.jp/>

